

環境調査結果のお知らせ

令和8年3月14日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、ハプト藻が最高で 34,300 cells/mL確認されました。湾内で発生している緑色の着色（赤潮）は、ハプト藻の大量増殖が原因と考えられます。

ハプト藻が、これまでに国内で漁業被害を引き起こした事例は確認されていませんが、国外ではハプト藻の一種が魚類のへい死を引き起こしたことがあります。

現時点で、浦ノ内湾におけるハプト藻と今回の漁業被害との因果関係は不明ですが、今回の赤潮に有害種が混在している可能性もありますので、十分注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ハプト藻
	(m)	(°C)		(mg/L)	
A 中学校前 (4.3m) 【09:19】	0	15.0	33.4	9.4	7,900
	2	15.0	33.4	9.3	5,500
	5	15.1	33.4	9.4	2,200
	10	15.1	33.5	9.0	7,000
	底層 11.5	15.5	33.7	7.8	50
B 光松 (3.5m) 【09:37】	0	14.8	33.4	9.8	27,100
	2	14.8	33.3	9.8	20,500
	5	14.7	33.3	9.8	30,300
	10	14.7	33.4	9.4	25,900
	底層 16.5	14.7	33.9	4.9	0
C 水試小割前 (3.5m) 【10:10】	0	14.8	29.5	9.2	23,200
	2	14.8	33.5	9.1	19,500
	5	14.8	33.5	9.0	22,300
	底層 8.5	14.8	33.5	8.9	30,600
1 大鹿 (4.3) 【13:53】	0	15.1	33.5	10.3	29,900
	2	15.1	33.4	10.2	34,300
	5	14.9	33.3	10.1	29,400
	10	14.7	33.5	9.5	26,700
	底層 16.5	14.7	33.9	4.8	50



A: 中学校前

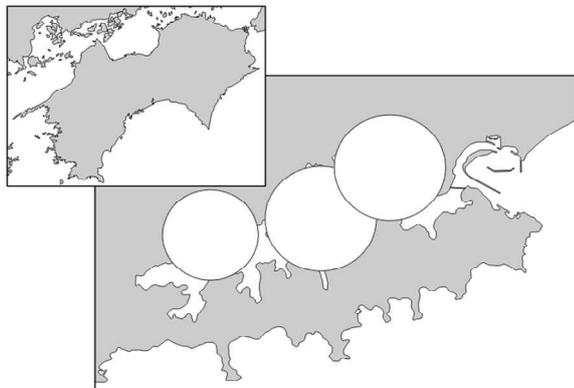
B: 光松

C: 水試小割前

1: 大鹿 (PM)

ハプト藻

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。



注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

